

# 図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム  
ページは  
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます



あけましておめでとうございます  
今年もよろしくお願ひいたします **辰**

## 1月のイベント

状況により変更・中止する場合は  
ホームページやtwitterで随時お知  
らせします。

### ●正月レシートおみくじ

日時：1月4日（木）開館中 ※1人1回まで  
内容：新年最初の開館日に資料を借りると、レシートに  
おみくじがついています。結果によって「いっと  
紙幣」をプレゼントします。

### ●いっとくん缶バッジプレゼント

期間：1月6日（土）～※なくなり次第終了  
内容：資料を3点以上借りた方に、  
いっとくん缶バッジをさし上げます。



### ●季節の工作会「豆まきあそび&工作」

日時：1月20日（土）14:00～（1時間30分程度）  
場所：2階 企画研修室  
内容：節分の工作を楽しみます。  
対象：小学生まで（小3までは保護者同伴）  
定員：8人  
受付：12月22日（金）～ ※定員になり次第終了  
申込：カウンター・お電話

### ●ダンボの会のおはなし会

日時：1月28日（日）10:30～（50分程度）  
内容：ボランティアによる絵本の読み聞かせです。  
その他、紙しばい・ペープサート・歌遊びなどで  
楽しめます。ぜひご参加ください。

★市貝図書館のイベントに参加された方に、簡単な  
アンケートを実施しています。今後の参考にさせていた  
だきますので、ご協力お願いいたします。

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

X（旧ツイッター）  
でも 情報配信中！



市貝町立図書館  
『いっとくん』  
@ittokun\_ichikai



★開館時間 9:30～19:00★



★利用者アンケートに  
ご協力お願いします★

1月4日（木）～1月30日（火）の期間、館内  
において図書館アンケートを実施いたします。  
皆さまの意見を参考に、さらに利用しやすい  
図書館を目指します。ご意見ご要望お待ちいた  
しております。  
いただいたご意見への回答は、次年度に館内  
に掲示する予定です。



★不用本を募集しています★

2月24日に、図書館で除籍となった本・ご家庭  
の不用本の「古本リサイクル市」を開催します。  
「もう読まないけど捨てるのは惜しい」本が  
ご家庭にある方は図書館にお持ちください。

募集期間：1月30日（火）まで  
募集図書：一般書・児童書・コミックス

※状態の酷いもの（汚れ・カビ・破損・  
虫食いなど）がある本はお受け取り  
できません。  
※一度寄贈いただいた図書は原則として  
返却できません。



## 図書館カレンダー

1/19 は  
資料を借りるの  
いっとくんの誕生日☆

1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1 年始休館	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19★	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31※			

2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29※		

■…休館日 ※月末資料整理日

# 蔵書点検の不明資料について

10月に実施した蔵書点検で6点の資料が不明となっておりますが、内容についてお知らせします。

## 【一般書（小説）】

「せみと蓮の花」 坪田 譲治 // 著（木鶏社）

## 【一般書（小説以外）】

「JRバスに乗る！全国を網羅する高速バス・路線バス完全ガイド」（講談社）

「全方位レトロカラーバスアルバム」（ネコ・パブリッシング）

「猫のきせかえぬいぐるみ」 芝 千世 // 著（グラフィック社）

## 【児童書】

「新電車大集合 1616点決定版」 広田 尚敬 // 写真（講談社）

## 【視聴覚資料（CD）】

「POP Hit March 2019」（日本コロムビア）

図書館の資料は町民の皆さまのものです。今後も責任を持って追及してまいります。

## 今月のスタッフおすすめ本

### 一般書

#### 「風が強く吹いている」

三浦 しをん // 著  
（新潮社）

皆さんは箱根駅伝をご存知でしょうか。毎年1月2日～3日にかけてやる大学駅伝のことです。東京～箱根間を往復10区間（217.1 km）、襷リレーしながら競う学生長距離界最長の駅伝競走です。

この小説はそんな箱根駅伝に出場することを夢見ていた1人の学生と、ふとしたことで出会った天才ランナーが1人、そこになぜか陸上競技と素人の8人が加わり計10人のメンバーで箱根駅伝に挑んだ青春群像劇である。後半、それぞれが悩みを抱えながらも仲間のためにゴールを目指し襷をつないでいくシーンには何度も胸が熱くなった。“走る=生きる”ために必要な真の強さとはなんなのか。

走るのが嫌いな私でも読み終わったとき無性に走り出したくなった。多分それは私だけではないはず。そんな1冊です。  
（スタッフ：みるく姫）

### 児童書（中学年向け）

#### 「放課後ミステリクラブ 雪のミステリーサークル事件」

知念 実希人 // 作（ライツ社）

雪が積もる小学校の校庭に巨大なミステリーサークルがあらわれた。どうやって、何のために作ったのか。ミステリクラブ三人組が先生の依頼を受けて不思議事件の謎を解いていく。

子供だけじゃない大人も楽しめる本格的トリック？  
推理しながら読んでみてはいかがでしょう？

（スタッフ：ころころ達磨）

### YA（中高生向け）

#### 「たとえ悪者になっても ある犬の訓練士のはなし」

佐藤 真澄 // 作（静山社）

飼い主を咬んでしまうなど、狂暴で殺処分するしかないと言われた犬たちを、何とか更生させて助けてい——。大田原市の「北栃木愛犬救命訓練所」で所長を務める中村さんは、こころない人たちから悪者と言われようとも、犬たちの命を救うため厳しい訓練をおこないます。中村さんの、犬に対する愛情が伝わってくる一冊。

（スタッフ：寿司アイス）

私の所属している日本レクリエーション協会では、レクリエーションが寄り添うべき社会の課題として、高齢者の孤立者化問題を学習しています。内閣府の白書によると、65歳以上の単身者世帯は28.8%と、全体の約3割を占めています。昭和55年と比較すると約40年間で3倍も増加しており、高齢者の社会孤立が課題となっています。この傾向に拍車をかけたのが新型コロナウイルス感染症です。他人との接触を避け外出を自粛する社会の風潮は行動パターンに大きな変化をもたらしました。日本人特有の、人から助けをもらうことに対し「申し訳ない」「迷惑をかけてはいけない」と遠慮がちな人が多いのです。また、調査研究によると、家族との同居がむしろ孤独につながる」との結果もあるようです。「昼間は子世帯が仕事や学校に行っていてひとりぼっち」「家族の帰宅時間が遅いから夕食もひとりぼっち」と、孤立の現状は見た目からはなかなか判断しづらく複雑で難しいものがあるようです。協会では、レクリエーションが果たす役割も含めて打開策を話し合っています。余暇を利用してスポーツ系・文科系、または対面・オンラインどちらでもよいので、自分がやってみたい！楽しい！と思える活動を、レクリエーションを通して展開したいと模索中です。つながりを深めていければ「今日のあの人はなんだか寂しそうだな」と、ちょっとした変化にも敏感になるのでは。

